

登録コード	E2515900	開講年度	2026				
授業科目	絵画研究					担当教員	中野 良寿
英文授業名	Studies of Painting					副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限		対象学生
講義室	教育N106			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				絵画史について説明できるようになる 造形的絵画作品の制作ができるようになる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				絵画の制作理論説明できるようになる 絵画素材や技術について説明できるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	「私が追求する絵画」の制作に必要な、発想から制作実現までを考察する。						
(5)授業計画	第1回：絵画表現全般の理解(主題・様式・媒材・技法・ジャンル等) 第2回：下図研究1(ドローイング) 第3回：下図研究2(資料収集) 第4回：下図研究3(試作) 第5回：制作(サイズの選定) 第6回：制作(素材の選定) 第7回：中間講評会 第8回：制作(イメージについて) 第9回：制作(作品の構造について) 第10回：制作(プロセスの検討) 第11回：制作(技法の確認) 第12回：制作(方向性の確認) 第13回：制作(完成度) 第14回：制作(仕上げ)講評会 授業アンケートを実施						
(6)成績評価の方法	到達度を測る課題作品(含ポートフォリオ)(90%)の提出と、学習状況(10%)を含め評価を行う。						
(7)成績評価の基準	授業で示した基本レベルの作品であれば、「水準にある」、オリジナリティが有れば「やや上にある」、探求心とインパクトが有れば「かなり上にある」、総合的な作品の完成度が有れば「卓越している」・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	準備段階から制作の為の試行錯誤を怠らないこと。						
(9)履修上の注意	指定する材料を用意すること。その為の個人負担が有る。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メール予約で随時。E407 maokada@shinshu-u.ac.jp 026-238-4145						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	作品集, 参考作品等, 随時紹介。						